

たんだ新聞

たんだ新聞社
〒270-1147
我孫子市若松 26 4
我孫子市民図書館
04 7184 1110



あまがえるりょこうしゃ
トンボいけたんけん
松岡たつひで / さく
福音館書店



あまがえる先生のあんないでたんけんにしゅっぱつ！
トンボいけにはいろんないきものがいるよ。



エルマーのぼうけん
ルース・スタイルス・ガネット / 作
ルース・クリスマン・ガネット / 絵
わたなべしげお / やく
福音館書店

スニッピーとスナッピー
ワンダ・ガアグ / ぶん・え
さくまゆみこ / やく あすなる書房



とびだせ！

ぼうけん たんけん



くんちゃんのだいいりょう
ドロシー・マリノ / 文・絵
石井桃子 / 訳 岩波書店

こぐまのくんちゃんは、
わたりどりといっしょに
みなみへたびにでること
にしました。



ネットくんのいくところ、
つぱい！
とんでもないトラブルがい



よかったね ネットくん
レミー・シャーリップ / 作
やぎたよしこ / やく 偕成社

たんだのたんけん
中川李枝子 / さく
山脇百合子 / え
学研

5さいのたんたは、
しぎなちずをみつ
ます。ちずをたどつ
つよのうの子といっ
つにジャングルへ入
ていきます。



これもよんでみて！

こぎつねルーファスのぼうけん	アリソン・アトリー / 作 石井桃子訳 岩波書店	みなしごのこぎつねがライグマのおくさんにひるわれて
おばあさんのひこうき	佐藤さとる / 作 小峰書店	あみものじょうずなおばあさんが、そらとぶひこうきをあんじゃった。
ねずみとおうさま	土方重巳 / 作 岩波書店	おうさまはねずみにすがたを変えて外のせかいへでかけました。



かいじゅうたちのいるところ
モーリス・センダック / さく
じんぐうてるお / やく
富山房

おかあさんにおこられた
マックスは、ふねにのって
たびにでた。そこにはなん
と。。。。

このほんだいすき



「しろいいぬ?
くるいいぬ?」
マリオン・ベルデン・
クック / 著
光吉夏弥 / やく
池田竜雄 / え
大日本図書

しろいいぬ? くるいいぬ?

クック / 著 大日本図書

おもしろくて楽しかった。ふしぎな話だった。
へんなことばがはいっていた。またよみたい。

青山百花 (アピスタ本館)

けいとだま

大槻あかね / 作 福音館書店

けいと玉でマフラーをあむと、とてもとても長
くて、一人じゃ使いきれません。五人でも十人でも
使いきれなくて、世界中の人が、とても長いマ
フラーをまいて、とてもおもしろかったです。

荻野 来瑠実 (アピスタ本館)

あーいいきもち

しまづかずこ / 作 福音館書店

「とまとが、ごろん」ってところ、れたすが、
「みんなおいですよ」って言うところがおもしろか
ったよ。絵がとてもかわいくて、おもしろいとこ
ろが、いっぱいあったよ。

村山優衣 (湖北台分館)

黒いお姫さま

ヴィルヘルム・ブッシュ / 採話

上田真而子 / 編・訳 佐々木マキ / 絵

福音館書店

しんだおひめさまなのに、十二時になるとこ
きはじめて、一時になるともとのぱしよにもどっ
て、ちよつとこわいのでえらびました。

はしもとりょうすけ (アピスタ本館)



「ひよこのコンコンが
とまらない」

ほくあう (北欧のむかしばなし)
ポール・ガルドン / 作
福本友美子 / やく
ほるぷ出版

ひよこのコンコンがとまらない

ポール・ガルドン / 作 ほるぷ出版

大きなたねをのみこんで、せきがとまらなくて、
おとなどりがぶつぷつこつかんするみたいになっ
たのが、おもしろかったです。

伊藤朴哉 (湖北台分館)

ことばあそびうた また

谷川俊太郎 / 詩 福音館書店

私は、詩がすきで、よくかっています。学級文庫
で、教室で見たとき、1つだけあんきするくらい
よんだ詩が、たしか「カエルはカエル道をまちが
える・・・」というやつでした。おもしろかった
です。

やおいたゆい (湖北台分館)

=とじょかんの人の大すきな本=

「木いちごの王さま」

サカリアス・トペリウス / 原作

きしだ えりこ / 文 やまわき ゆりこ / 絵 集英社



テッサとアイナのきょうだい木いちごを洗っていると中から
一ぴきの虫が。ふたりはその虫をやぶの中にかえしてあげました。
それからふたりは木いちごつみに森へでかけ、まいごになります。
つぎつぎとふしぎなことがおきて…。助けてくれたのは白いマント
に赤いぼうしの小さなおじいさん。さてこの人はだれなのでしょう?

(ふさぶんかん ほし みよ)

どうながのプレッツェル

マーグレット・レイノぶん

H・A・レイノえ 福音館書店

プレッツェルがグレタを
たすけて、グレタはたすかっ
てよかったと思いました。

???? (アビスタ本館)

もぐらくんとテレビ

ドスコチロウアー / 作 偕成社

春はるになって、カタツムリがテレビをもってきたの
で、みんなは、テレビにむちゅうになってしまった。
だからみんなは、もぐらくんとあそびなくなっ
て、かわいそうだった。ともだちは大事だいじにしないとだめ
だと分かった。

酒詰遥 (布佐分館)

よかったねネッドくん

チャーリップ / 作 偕成社

ネッドくんは、いいことがある、とすぐにわるい
ことがある。いいことのページは色がついていて、
悪いわるいことのページは白黒しろくろです。白黒だと悪いことが
よく伝つたわります。さいごは、本当によかったなーと
思いました。だい名なのとおりでした。おもしろかっ
たです。

やあこはる (湖北台分館)



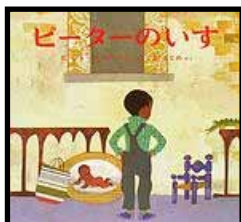
どうながのプレッツェル (アビスタ) 本館

ピーターのいす

キーツ / 作・画 偕成社

ピーターは、妹いもうとができた。ピーターが小さいこ
ろにつかっていた物が、全部ぜんぶ、妹の物になってしま
った。妹の物になったものは全部、ピンクいろにぬ
っていておもしろかった。

田辺かすみ (布佐分館)



「ピーターのいす」

エズラ=ジャック=キーツ / 作・画

木島始 / 訳 偕成社

いどにおちたぞうさん

マリー・ホール・エッツ / 作 富山房

ものほしよのつなをつかって、遊あそんでいたぞう
さんは、あやまっていどにおちてしまった。うまと
うしと、やぎとぶたと、ひつじといぬ、それに、ね
ずみが力をあわせたら、ぞうさんをいどからだすこ
とにせいこうしたのがすこかった。

秋田桃香 (布佐分館)

すてきなルーちゃん

たかどのほうこ / さく 偕成社

「そういつてくれるのは、つんちゃんだけよ」と
いうところが、仲なかがいいなおもしろい。

千葉雪乃 (アビスタ本館)

オバケちゃんとおこりんぼママ

松谷みよ子 / 作 講談社

ママオバケは、やさしいときのママと、おこりん
ぼのときのママがいて、どちらもおもしろかった。
見ているうちに、オバケちゃんがかわいそうになっ
たり、そのオバケちゃんにぶつぶついわれて、ママ
オバケがかわいそうになったりしました。

森帆乃香 (湖北台分館)

白いはらのこどもたち

たかどのほうこ / 作 理論社

おばさんとのんちゃんが、雪道ゆきみちをさんぼしてた
ら、お友だちにあった。おともだちとみんなで、
雪でかまくらをつくった。かまくらの中でお茶を
して、楽たのしそうだった。

松原かなみ (布佐分館)

じょうもんくんとたまご

タイガー立石 / 文・やきもの

佐々木光 / 写真 福音館書店

いろんなねんどでつくった人やモノたちが、おも
しろくてよかったです。どうやってつくったかはわ
からないけど、いいはなしでした。

ばくはつしたときが、すぐくて、とてもよかった
です。みなさんもよんでみてくださいね。

やあこはる (アビスタ本館)

「」のほんだいきは お名前なまえと受け取り館かんをのせています

とびだせ

ぼうけん たんけん

しぜんの中へ

もりのくうちゅうさんぽ
松岡たつひで / 作 福音館書店



おうじよさまのぼうけん
エルサ・ベスコフ / 作・絵
石井登志子 / 訳
フレーベル館



もりのくうちゅうさんぽ
ルース・エインズワース / 作
堀内誠一 / 画 石井桃子 / 訳
福音館書店

そらだ！

うみだ！



黒い島のひみつ
(タンタンの冒険旅行1)
エルジェ / 作 川口恵子 / 訳
福音館書店

もりだ！



はじめて空をとんだ
こすずめ。お母さんの言う
ことをきかず、どんどん
とんでいってしまいます。



チムとゆうかな
せんちょうさん
エドワード・ア・デヴィズニ / ぶん・え
せたていじ / やく
福音館書店



沖釣り漁師の
PARTY
ロバート・マックロスキー / さく
わたなべしげお / やく
童話館出版

ほくらのそばにも

わくわく・ドキドキ!

ほくはあるいた
まっすぐまっすぐ
マーガレット・ワイズ・ブラウン / さく
坪井郁美 / ぶん
林明子 / え ベンギン社



くらやみえんのたんけん
石井ミツ子 / さく 二俣英五郎 / え
福音館書店



「あかりをけしたら、
いつもものほいくえん
になった！」
が、「くらやみえん」



ほくらの地図旅行
那須正幹 / ぶん 西村繁男 / え
福音館書店



おいしいのぼうけん
ふるたたるひ / さく
たばたせいいち / え 童心社

おひるねのじかん、さわいでおこられた
さとしとあきは、せんせいにおいしいれに入
れられてしまいます。そこに、あらわれた“ね
ずみばあさん”。ふたりは手をつないでねず
みばあさんにたちむかっていきます。



はじめてのおつかい
筒井頼子 / さく 林明子 / え
福音館書店

「ぎゅーにゅー、かってきて
くれる？」おかあさんにたの
まれて、みいちゃん、ひと
りでおつかいに行きます。

= へんしゅう * こうき =

さむかった冬がおわったら、うわぎをぬいで外へいこう！

お友だちをさそって、としょかんのおはなし会にきてね！